

最近夜はかなり涼しくなりましたが、皆様如何お過ごしでしょうか。

本使は着任してから丁度1年になります。この1年おかげ様で無事に職務を務めることができました。

本使は新鮮な気持ちのうちにセネガルを見ておきたいと思い、この1年セネガル国内を色々まわりました。

春は北部のサンルイのジャズフェスティバル、南部国境地域のファタラのライオン・サファリ、夏は沿岸部のサリー、秋は中部のトゥーバ、南東部のケドゥグやタンバクンダを訪問しました。山河豊かな日本と比べて地域差はありませんが、それでもそれぞれ地域色があって興味深いものでした。今年も機会をみつけて各地を訪問したいと思います。

しばらく自粛していた新年会でしたが、先月多くの方々に集まり頂き盛況に開催することができました。この新年会は本使が着任してから初めての100名を超える会でした。ようやくコロナが落ち着いてこのような会が催せるようになったことをうれしく思います。今回は初めての試みとして参加者全体の集合写真を撮り大使館のHPに掲載しました。来年の新年会でも同様に集合写真を撮りますので、記念になるため来年もたくさんの邦人の方々に参加してほしいと思います。また、留学生OB等日本に縁があるセネガル人にも参加して頂き、皆様と交流をして頂きました。3月の天皇誕生日レセプションも更に大規模にしてしっかり行いたいと思います。

1月23日には日セネガル経済委員会を開催しました。当地で活動する日本企業が直面する問題について取り上げ、セネガル政府に対応を求めました。本使にとっては初めての委員会でしたが、邦人企業がビジネスで抱える問題点について理解を深めることができました。皆様が直面する問題は一朝一夕で解決できる問題ではなさそうですが、当国の経済政策の中心にいるサール経済大臣にみなさまのかかえる問題について直接説明することができたことは有意義でした。大使館もフォローアップに努めていきます。共同議長をされたサール経済大臣の差配がとても上手く、問題に適切に応えられていたことを強く印象付けられました。

今年は人の交流を更に強化して行きたいと思います。

コロナで撤収していた協力隊ですが、先週4名が着任され、これで協力隊は7名になりました。住民と一緒に暮らしながら活動を行う協力隊の方々は日本とセネガルとの架け橋だと思います。

セネガル人の日本留学生も日本にとって財産ですので、様々な形で留学生を増やして行きたいと思います。セネガルの大学生に日本の大学を紹介する大学留学説明

会が2月9日にダカール大学で、2月11日にはアフリカ高等経営学センター(CESAG)で開かれます。これまでセネガルからの留学は国費留学が大半でしたが、セネガルの経済発展の恩恵でしょう、最近では自費留学の学生も出てきました。また、今月から京都精華大学が数名の短期留学生を派遣してきます。

更には、3月4日、5日に、京都精華大学の先生による昨年延期となったマンガワークショップが開催される予定です。アニメ好きのセネガルの若者が多く参加することを期待しています。

今回はまだ発表できませんが、本年前半にその他の日セネガルの交流イベントを計画していますので、楽しみにしてください。

今年は本使にとって2年目、引き続きセネガルとの関係の強化に努めていきますので皆様のご協力のほどよろしくお願い申し上げます。